

# Know

350

2022.1.15

駒澤大学学園通信[ノウ]

Komazawa



# Zenfes

駒大エール駅伝 | 2021.11.06 Finale

🌿 活躍する卒業生 🌿 実家まで、ここから何キロ? 🌿 国際交流レポート 🌿 表紙の二人に聞いてみた!

# 写真

「フォトでエール」



アカペラサークル鳴声刺心 み空色メルト



音響・照明：電気美術研究部



ゲスト：ゆったり感



駒澤大学MASコンテストグランプリ 徳岡侑美さん、福田純平さん



オンライン学生イベント!



青春賞  
「海に行った日」はなごさん

審査コメント  
先を歩く友人たちと、後ろから追いかける作者の少し距離を置いたあたたい視点を感ぜられる写真でした。



風景賞  
「オレンジクロードレース後の余韻」manzooさん

審査コメント  
圧倒的な存在感の富士山と太陽の夕日がなければこの瞬間は成り立ちません。様々な要素が同時に入るようによく考えて撮影された写真だと思います。



「コロナ禍で苦しんだあの人」や「何かを頑張って達成しようとする人」を対象に学生・教職員から「エール」を送る企画。誰かを勇気づける、誰かに喜ばれる、何かで癒されるなど、川柳、写真、楽曲や映像などの自由な創作物を集めました。ここではその一部をご紹介します。

# ZenPost

>ゼンポスト

## 映像

「ビデオでエール」

## 像



「step」  
ゲスト審査賞  
制作者コメント  
一人ひとり違う状況や環境の中でも、一歩ずつ進もうという思いを込めて作成しました。審査コメント  
足を撮るといふのが斬新で、メッセージ性が強く感じられました。



「駒大の思い出」  
制作者コメント  
この作品を見て気になるところや感じたことが大切な思い出を思いだすきっかけになってほしいです。  
審査コメント  
大学の校舎などが映り、思い出に浸れて良い作品でした。



「ただ」福盛慎平さん  
不安があふれる現在、小さな幸せをこの歌が改めて教えてくれました。これは自身へのエールでもあります。皆さんとそのエールを共有できたら幸いです。  
審査コメント  
歌声、メロディー、とても好きです。エールというテーマとの自然なリンクを感じました。

## 音楽

「サウンドでエール」

## 楽



# ZenFes 駒大エール駅伝 | 2021.11.06 Finale



## 主催者 メッセージ



このイベントは、本学の建学の理念である仏教の教えと禅の精神にも関わる「利他や慈悲」という考えから、「コロナ禍で頑張る人、苦しむ人にエールを送る」ことをコンセプトに企画しました。学生有志のメンバーを募り、5月から11月まで活動を行いました。コロナ禍で活動が制限され、企画運営は基本的にオンラインで行いました。前例のないイベントかつオンラインでの運営のため、大変だと思いましたが何度もありました。他のメンバーも同じだったと思います。その分、完成したコンテンツへの愛着は強いのです。

また、「禅」について改めて学ぶ機会にもなりました。私は駒澤大学に在学しながらも、禅を深く考える機会がありませんでしたが、このイベントの運営を通して、難しく感じていた禅を身近に感じる事ができました。禅の解釈は人それぞれだと思います。私たちのコンテンツを見て、「禅」を見つけてみてはいかがでしょうか？

経営学部経営学科4年 佐藤裕介さん

## 川柳

「川柳でエール」

## 柳



「コロナで変化した生活習慣や外出自粛で芽生えた趣味、つらかったこと、楽しかったことについて自由に投稿していただきました。」

テーマ「コロナで変化した日常」

手洗いが いつの間にも 習慣に  
こいたさん

オンライン 画面のしたは 寝巻きかな  
里さん

顔合わせ オンラインだと カメラOFF  
あもさん

日曜日 いえいえ今日は テレワーク  
テレテレワークさん

手放せず 常にカバンに 予備マスク  
重兵衛さん

時が経ち 秋季尋ねる 君の名は。  
なかじんさん

楽しい マスクの下は ノーメイク  
ポムポムさん

自粛中 増える体重 減る運動  
もちもちちゃん

時間はある なのに減らない 積読本  
ばんださん

ZenTalk / セントーク

第1回 ZEN×COMEDY

笑いという切り口から話を広げることで「禅」に興味関心を抱いてもらえるようなトーク番組！



みほとけ氏



仏教学部教授 熊本 英人

浅井企画所属の若手芸人でお寺・仏像研究者としても活躍しているみほとけさんと、仏教学部の熊本英人教授をゲストとしてお呼びしました。禅とあまり馴染みがない学生に対して「笑い」という切り口から話題を繰り広げることにより、少しでも「禅」に興味関心を抱いてもらえるようなトーク番組をお届けしました！仏教と笑い、坐禅と笑い、自分と禅、そして仏教との関わり、といったテーマの対談で、みほとけさんによる生パフォーマンスの披露やプチ坐禅体験など、禅について学びながら楽しめるコンテンツが盛りだくさんのトークショーです。



第3回 ZEN×MEDIA

豪華スペシャルゲスト、欽ちゃんこと萩本欽一さんをお招きしてのトーク番組！



仏教学部教授 村松 哲文



コメディアン 萩本 欽一氏



第3回はZEN×MEDIAをテーマとしました。「欽ちゃん」の愛称で誰からも親しまれ、日本の芸能界を代表するコメディアンとして大活躍の萩本欽一さんと、仏教美術と禅美術を研究分野としている仏教学部の村松哲文教授をゲストとしてお迎えしました。一見関わりがなさそうに思えるテレビと仏像には、どちらも「伝える」という役割を持つ「メディア」としての共通点があります。ゲストの萩本欽一さんは「視聴率100%男」と呼ばれ、言葉や表情、そして動きと様々な手段を用いて人々に笑いを届けるコメディアンです。一方で仏像も、表情やその姿で視覚的に人々に仏心を伝えてきたメディアと言えます。時代が変化していく中、メディアの歴史と未来をどう捉えるのか、日本文化や禅について、メディアを通してどのように発信していくべきか。お二人の専門家の視点からトークしていただきました。

ZenTube > ゼンチューブ

禅をよりわかりやすく、楽しく学ぶコンテンツの配信企画。“難しく感じる禅を身近に感じてもらいたい”という想いのもと動画が作成されています。



新たなZenを発見してみてください。

動画撮影編集協力：ジャーナリズム・政策研究所

第2回 SDGs×ZEN×経営

禅とSDGs、経営に通じる思想は果たしてあるのか？次元を超えた知的格闘のトーク番組！



経営学部教授 青木 茂樹 (進行役)



永平寺 監院 小林 昌道氏



株式会社代表取締役会長 山田 匡通氏

第2回は株式会社イートーキ 山田匡通さん、永平寺 監院 小林昌道さん、経営学部 青木茂樹教授をゲストとしてお呼びしたトークセッションです。「禅とSDGs、そして経営に通じる思想は果たしてあるのか」というメインテーマをはじめとして、様々なトークテーマを掲げお話を繰り広げていただきました。異色のコラボだからこそ見えてくる禅とSDGs、そして経営との関連性や相互作用性など、ゲストの皆さんの価値観や思考、今後の禅やSDGsの在り方をたっぷり話していただきました。老若男女問わず、思わずうなずいてしまうことと間違いなし！業界の垣根を越えた知的格闘のトーク番組をお届けします！



第4回 ZEN×創作

禅と創作をテーマに、駒澤大学卒業生の写真・映像・音楽のプロによるトーク番組！



仏教学部教授 村松 哲文 (進行役)



塩沢 禎 氏



山田 大介 氏



第4回は、LIVE配信イベント「ZenFes Finale」のコーナーの一つとして実施し、「禅と創作」をテーマにトークセッションを行いました。仏教学部の村松哲文教授が司会を務め、ゲストには写真家として単行本の出版を中心に活動されている塩沢禎さん、映画監督として活躍されている大森立嗣さん、現在注目のヒップホップグループ「JABBA DA FOOTBALL CLUB」のフロントマン山田大介さんの三人にお越しいただきました。実は三人とも駒澤大学卒業生であり、今回はそのご縁でZen Postの審査員も兼ねてのご出演となりました。写真・映像・音楽、それぞれの分野のプロとして日々創作活動をおこなっているお三方に、創作活動を行う上で大切にしていることや、どんな時にアイデアを思いつくか、というお話をいただきました。創作における心情や内面的意識といった観点を掘り下げると、禅の精神とも通じるものが見えてくるのか。プロの創作意識を垣間見ることができ、興味深いトーク番組となっています！

精進料理



配信企画 駒澤大学卒業生で曹洞宗八屋山普門寺副住職をされている吉村昇洋さんにご協力いただきました。「これが精進料理なのか！」と驚くような料理を紹介しています！

学食企画 精進料理を身近に感じてもらうように、一般的な精進料理の一汁三菜の形式ではなく、学生が親しみやすい「ハンバーガー」を精進料理風アレンジして提供しました。

体育会チャンネル



陸上競技部取材 駒澤大学卒業生であるM高史さんをお呼びして、陸上競技部・サッカー部、応援指導部ブルーベガサスに、普段は聞けないリアルな活動をインタビューしました！ぜひご覧ください！

総括

〔学生スタッフより〕

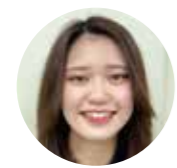


学食企画担当 経済学部現代応用経済学科2年 山下 快成さん



私はZenFesのビデオでエール部門の一人として参加しました。ひとつのイベントを創り上げるまでに、たくさんの方が携わってくださり、企画や実行の難しさを実感しました。また、ZenFesを通して学部や学年の垣根を越えた出会いがあり、私にとって貴重な経験となりました。

ビデオでエール部門担当 文学部地理学科地域文化研究専攻2年 齋藤 愛さん



全体を通して、各部門が「禅とは何か」「どうすれば駒大生に知ってもらえるか」を常に考え、最後まで全力で突き進むことができたイベントだったと感じています。こういった皆さんの努力を動画などの形に残すことで、多くの学生の「禅」への理解に貢献できたことを嬉しく思っています。

ZenFes 担当 文学部英米文学科2年 久保 菜々子さん

# 活躍する 卒業生

お笑いコンビ オズワルド  
吉本興業東京本社所属

いとう しゅんすけ  
伊藤 俊介さん

2012年 文学部国文学科 卒業

## M-1 2019～2021 3年連続ファイナリスト 第42回 ABCお笑いグランプリ王者

国語教員を目指し入学するも  
楽しさの波にのまれてしまっ

駒澤大学に入学した理由は、国語の教員志望だったから。高校時代なぜか「駒大」って国語っぽいと思って、第二志望にしていました。小さい頃からテレビでダウンタウンさんとかを見ていて、お笑い芸人は自分にとって「一番カッコいい仕事」だったけど、「なれるはずがない」憧れでしかなかった。だから、現実的な職業として教員を志望しました。でも高校を卒業したら自由時間が増えて友達と遊んでばかり、山ほどある楽しさにあおられまくってしまいました。結局、「金八先生カッター」ぐらいのノリで教員を目指していたわけです。

自分の根本ツッコミ全開！  
それがターニングポイントに

はちゃめちゃな自分にとって現実的な仕事は教員ではなく「お笑いだ！」と確信したのと、「NSC（吉本総合芸能学院）に行けばすぐ芸人になれる！」という思い込みで、4年生からNSCでお笑いの勉強も始めました。まあ、そんな簡単にうまくいくはずなのですが、学生ノリで行ってました。

忘れないのは4年生の時、教職課程の先生と飲みに行き、「俺は母子家庭で育ったし、お笑いなんか目指さないで、卒業したらすぐ働いて親孝行した方がいいですよ？」って聞いたら先生が「いや、君みたいな者が親孝行だなんておごましいよ。親孝行は自立した人にしかできないんだ」と。そして「だからね、やりたいことがあるなら、やった方がいいよ」って言うてくれたんです。その言葉に背中を押してもらえたから、今、俺は劇場に立っているんだ、と思っています。

ノートを取っていきそうな女子学生に「すみません、ノート写させてもらっていいですか？」って声をかけました。「いいですよ」と貸してくれたので、時間ギリギリまで写そうとしていたら、その学生が「やっぱり返してください」とやって来て、「私は真面目に授業に出ています、出ていない人の力になる理由が見つかりませんでした」と言われ、ぐうの音も出ませんでしたね。「皆が勉強をしに来ている中で、勉強できないのってメッチャ恥ずかしい！」「何しに大学に来てるんだ、俺は!?」「ハッとさせられた出来事でした。

駒大の先生からのひと言が  
お笑いへ背中を押してくれた

退。」「これじゃダメだツッコミ全開にする！」と振り切ったら、明確にお客さんの反応が大笑いになり、これがオズワルド伊藤のターニングポイントになったと思います。今、すごく楽しんでやっていますよ、だって俺、根っからのツッコミですから。



### オズワルド SNS

伊藤さん：@ozwalditout

畠中さん：@hatanakayuuuuu

@hatanakayuuuuu

オズワルド：オズワルドのおずWORLD/OmO

### PROFILE ITO SHUNSUKE

千葉県出身。2012年 文学部国文学科卒業。2014年、畠中悠さんとお笑いコンビ「オズワルド」結成。ジワジワとお客さんを引きずり込む、新感覚の東京マンザイで人気ウナギのぼり。夢は、関東の芸人の名札がまだ掲げられていない吉本興業の劇場・なんばグランド花月に「何十年先になるかわからないが、オズワルドの名札を出すこと」。

劇場に来てくれて、「駒大生ですー」って声をかけてもらえたらテンション爆上がり！「駒大」という共通項があることが嬉しい。



### Q1 専門とされている分野は?

近代社会では、私人間で自由に契約が締結され、もしも契約上の義務が実現されなければ、国家が強制して実現することになっています。私人が締結した契約が、なぜ国家によって強制されるという法的効力を有するのか、また逆に締結した契約が国家によって否定されるのか、という問題があります。このような法的な効力の根拠とその限界を専門に研究を進めています。

### Q2 授業では法律について、どの様に学んでいくのでしょうか?

「民法」という名の法律にある条文を、どのように使うと効果的か、ということを中心に学んでいきます。一つの条文には複数の要件があり、それを満たす事実がなければ、その条文を具体的な場面で適用することができません。法律を頭で考える観念的なものとするのではなく、実際に適用していく、という実用性を重視して学んでいきます。

### Q3 大学で法律学について学ぶ魅力とは?

法律紛争を解決する方法は、一方がある条文に基づいて相手方に請求し、それに対して他方が別の条文に基づいて、その請求を拒絶し、さらに別の条文に基づいてその請求を補強する...というような、カードゲームのような側面があります。一つの条文について一方の立場に立ったときと、他方の立場に立ったときとは意味合いが違ってきます。そのようなこのゲーム性に気が付くと、法律が立体的にダイナミックに展開すると感じるところに法律学の魅力があるでしょう。

### Q5 ご趣味は?

頭を使うことが趣味です。そうであるからこそ、研究することができるこの職業を選びました。また教育効果を上げるためにどのような板書をしたらよいか、と工夫することも頭を使うことです。研究も教育上の工夫も、予想しなかった結果がでてくることも、大きな喜びです。

### Q6 好きな食べ物?

学生時代に大病してから、牛肉を食べることができません。それ以外に好き嫌いはありません。

### Q7 好きな音楽は?

クラシックが好きです。室内楽よりも、オーケストラがある交響曲や協奏曲などを好みます。ブラームスやマーラー、チャイコフスキーやラフマニノフ等は特に好きです。

## KONECO に載らない 先生話 の話



今回お話を伺う先生は...  
法学部 法律学科 **熊谷 芝青 教授**  
KUMAGAI SHISEI

### Q4 学生に求めるものとは?

時代を経て生き残ってきた、人類の知的遺産ともいえる古典的名著が数多くあります。情報があふれている現在、その古典の存在が忘れられています。『正法眼蔵』をはじめ大作家や大哲学者の古典の大作を、1冊でも多く読んでもらいたと思います。30代以後に読んだものは結構忘れていますが、学生時代に読んだものは記憶に残り、人生を豊かにしてくれます。

### Q8 学生時代の印象的なエピソードは?

学部時代の中から自活しながら勉強を続けてきました。その中で、大病に罹り、自棄になったこともありました。しかし、古典的名著を読み、自分の在り方を考えたとき、自分が頭を使うことが好きなのだ、ということを再認識しました。そのことを常に意識しながら、このまま勉強を続けようと、頑張ってきました。このような試練がなければ、学問をするという覚悟ができなかったと思うと、学生時代に悔いはありません。

### 先生の授業を受ける学生に向けてメッセージをお願いします。

自分の思い通りにならないことが多いのが人生です。その人生で社会のためになることが、最良の人生だと思います。法律を学ぶことで、各種資格を取得することができます。各種資格は皆さんの人生の味方となってくれるだけでなく、多くの人のために活動することができます。駒澤大学で学んだ皆さんがひとりでも多く「自利利他」を実践し、社会にとってかけがえのない人物となってくださることを心から願っています。



上杉 愛弓さん  
法学部法律学科1年

出発 駒澤大学 到着 東京都台東区

14 km  
45分

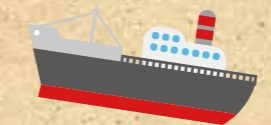
- 飛行機
- 新幹線
- 電車
- バス
- フェリー
- 徒歩

台東区と言えば浅草を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。粋で遊び心ある町並みやおいしい食べ物のお店が並び、いつも多くの人で賑わっています。特に5月に開催される三社祭には様々な国や地域から人が集まります。浅草は活気あふれる下町です!



紹介スポット：浅草

## 実家まで、何キロ?



みんなどこから来たの?  
それって駒澤大学からどのくらい?  
地元愛溢れるお気に入りのスポットと合わせてご紹介!

陳 陽さん  
経済学部経済学科3年

出発 駒澤大学 到着 中国遼寧省大連市

1642 km  
3時間

- 飛行機
- 新幹線
- 電車
- バス
- フェリー
- 徒歩

星海広場は香港の中国への返還を記念する主要な建設プロジェクトで、1997年6月30日に竣工しました。大連で様々なイベントやお祭りを開催するのに最適な場所で、日系企業や日本料理店も数多く存在しています。広場は176万平方メートルで、世界最大の広場でもあります。



紹介スポット：星海広場

徳田 うるみさん  
文学部歴史学科日本史学専攻3年

出発 駒澤大学 到着 鹿児島県鹿児島市

956 km  
4時間30分

- 飛行機
- 新幹線
- 電車
- バス
- フェリー
- 徒歩

「薩摩富士」の名で有名な開聞岳という山があり、その麓に日本最南端の駅「西大山駅」があります。「指宿のたまて箱」という観光列車で錦江湾を眺めながら駅に入ると、夏はひまわり畑が目前に広がりとても綺麗です。近くには砂蒸温泉もあり旅行にぴったりです!



紹介スポット：西大山駅

海外留学や海外の語学セミナーを受けたいと考える学生は少なくないと思いますが、不安も感じるでしょう。

実際に体験した先輩が挑戦の理由や学びの内容、得られた経験などを語ってくれました。

皆さんもぜひ参考に、海外での学びにトライしてみませんか？

# 国際交流レポート

International Exchange Report



グローバルメディア・スタディーズ学部  
グローバルメディア学科4年  
**高橋 佳鈴** Takahashi Karin  
交換留学 アメリカ アーカンソー工芸大学

## 留学先の選び方・派遣先を選んだ理由について

大学で特に力を入れて学んでいた「心理学」と、ずっと興味があった「ホスピタリティ」の両方を学べると思いアーカンソー工芸大学を選びました。また、海外のルーラル地域を訪れる機会はないかなかったので、一度、人々の心が温かく、ゆったりと過ごせる地方に滞在し、勉強してみたいと思っていました。海外の大学で学ぶことに加え、地域の人々とコミュニケーションを図ることが私にとって留学のもう一つの目標でした。

## 留学先での学びの内容について

ホスピタリティ学部イベントマネジメント学科に在籍。ホスピタリティやイベントマネジメントの授業の中にはリーダーシップ論や、ターゲット層やセキュリティを考慮したイベントの組み立て方などの学びがありました。日本のお客様は神様、という感覚ではなく、お客様とイベントマネジメント側が対等に接する文化を感じ、そのあり方を学びました。一方、相手の気持ちを察することの大切さは変わりがないことを理解しました。

## 留学で苦労したこととその克服方法

私が履修していた授業は留学生がおらず、日本人が一人でした。そのため現地の学生と比べると英語の読み書き力がどうしても劣っていました。それを目の当たりにして落ち込んでしまっ



文学部  
地理学科地域文化研究専攻4年  
**矢沢 友樹** Yazawa Tomoki  
短期語学セミナー 韓国 東国대학교

## 韓国オンライン短期語学セミナーを選んだ理由について

ソウルにある東国대학교の短期語学セミナーを1週間オンラインで受講しました。韓国語に興味を持ったのは高校時代で、韓国のアイドルグループ「AOA」がきっかけです。大学では「韓国サークルチャット」をつくり、代表を務めながら約100人の仲間に韓国語を教えています。今回は、韓国語力のブラッシュアップを目指し、東国대학교のセミナーに参加しました。学んだ経験を仲間にも還元して、サークルの韓国語力もレベルアップしたいと考えていました。

## オンラインセミナーでの学びの内容について

基礎的コースだったこともあり、これまで韓国語を学んできたことの総まとめのような内容でしたが、日本にいと現地の韓国語を使う機会が少ないので、授業で使われる言葉を聞きながら「ああ、こう言うんだ」と再確認でき、実践的な語彙力が上がったと思います。日本で勉強してきた韓国語に加え、現地でも通用する文法や表現方法、語彙力や発音など、韓国語の学びに新たな柱が立った、と感じられ充実した学びになりました。

## オンラインセミナーで苦労したこと

韓国のオンライン授業は3時間ずっとカメラオンだったので、いつときも気を抜けなかったことが印象に残っています。その理由の一つは、韓国では自分の顔を見せることに抵抗がないからなのか

ことがありました。そこで、教授に「私は英語の読み書きスピードが遅いのですが、どうしたらよいですか？」と相談したり、「授業のこの部分がわからなかったので教えてください」と頻繁に質問に行ったりすることで英語力を鍛えていきました。

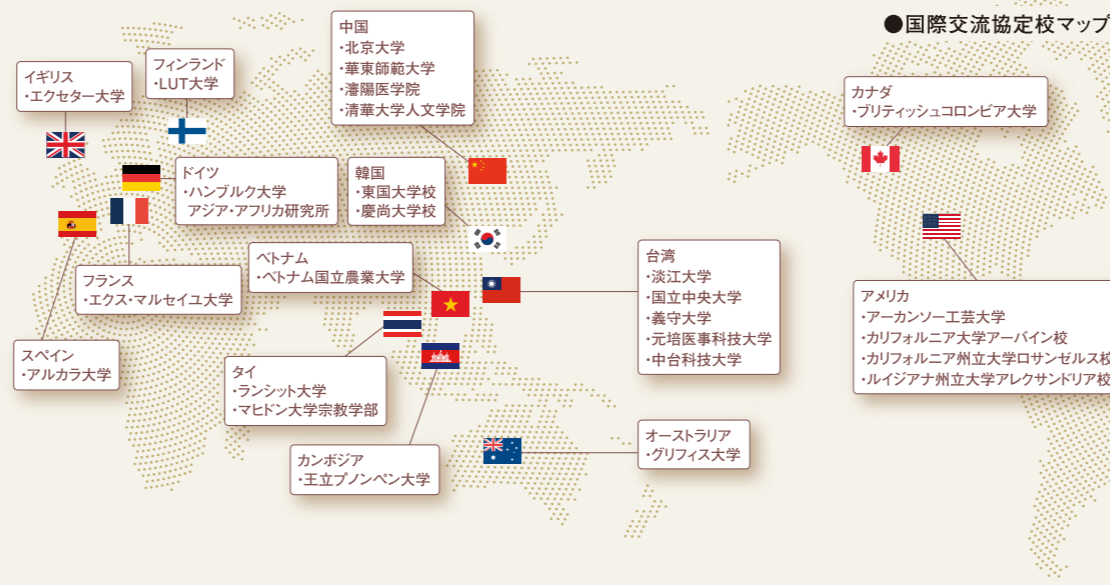
## 留学で得たこと、今後の目標について

ホスピタリティの授業では、教授の質問に対して単発的に答えるのではなく「なぜそう思うのか」「状況が違ったらどう思うのか」など、自分の意見をたくさん求められたため、思っていることをしっかりと発言し、積極的に人に対してサポートすることを申し出る事ができるようになりました。将来は、もっと社会経験を積んでから、今回の留学経験も活かして留学カウンセラーになりたいと考えています。留学に不安を持つ後輩を支援したいですね。

## 留学希望者へのメッセージ

留学を決意することはとても勇気がいると感じますし、いろいろな不安があつて、踏み切れずに諦めてしまう人も多いと思います。しかし、思い切って一歩踏み出すことで、今まで想像してなかったような自分になれるきっかけになったり、思いもしなかった体験ができるチャンスを得られたりします。ですから、もし「留学したい」という気持ちがあるなら、周りからの支援を仰いで挑戦してみる価値があると思いますよ。

## 国際交流協定校マップ



もしもありません。日本人は自分の顔を見せたがらない人が多いですから、カメラオンだと緊張してしまいました。また、韓国語の授業が終わった途端「日本にいる日常の自分」に戻るのに、モードを切り替えることにちょっと苦労しました。

## オンラインセミナーから得たこと、今後の目標について

韓国語は慣用表現が多く、このセミナーでかなり身についたと思います。授業で知り合った韓国人大学生と「韓国サークルチャット」が交流会を行うことになり、仲間の輪が広がったことにもなりましたし、韓国人の友人ができたことが大きな収穫でした。駒澤大学卒業後は大学院に進学し、社会学を研究していきます。将来は、培ってきた韓国の知識も活かし、韓国社会にも目を向けられる大学教員になりたいと思っています。

## 語学セミナー希望者へのメッセージ

日本にいながら外国語を学ぶことは容易にできますが、言語は知識として学ぶだけでは役に立たず、やはりコミュニケーションの手段なので、現地から発信されるセミナーを受け、慣れさせていくようにしてほしいです。さらに言語は、その国の歴史や文化に影響されていますから、現地の人と交流し、言語の背景を知ることで理解が深まります。後輩にはぜひ、外国語のバックグラウンドを学ぶ機会を得てほしいと思います。

## 留学先での英語力アップ法

### ルームメイトに教えてもらい英語力UP

大学内に学生寮が8棟ほどあり、ほとんどの学生が寮生活をしています。ルームメイトがアメリカ人だったので、レポートの書き方を習ったり、書いたレポートを添削してもらったりすることも英語力アップにつながりました。



### ホストファミリーとの交流で英語力UP

現地の人々とのコミュニケーションの中で仲良くなったご家族がいて、冬休みにはホームステイをさせてもらいました。子供達もいる家庭で約1ヶ月、英語だけで暮らした結果、自分でも驚くほど英語力がアップしていました。



### セミナーテーマ「韓国の言語と文化を探る」

## 1週間のスケジュール

時間割	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日
9:00~10:00	オリエンテーション	韓国文化について	韓国の言語と文化	韓国の言語と文化	韓国大学生との文化交流
10:00~11:00	韓国の言語と文化	韓国大学生との文化交流			
11:00~12:00		—	—		
12:00~13:00		—	—	—	

日本全国から数十人の学生が参加しており、いつもの大学のオンライン授業とは勝手がまったく違っていました。知らない学生たちの中で発言するのは勇気が必要でしたね。

私は鉄道ファンなのですが、趣味が合う韓国大学生と友人になりました。今は互いの国の鉄道について情報交換を楽しんでおり、今後も交友を深めたいと思っています。



**FUKUI HINA**  
文学部英米文学科4年  
ミス駒澤2020  
福井 姫奈さん

ミスコンテストに出ようと思ったきっかけを教えてください

運営の方に声をかけていただいたのがきっかけです。昨年度のファイナリストの方々の映像を見て、私も挑戦したいと思いエントリーを決めました。

ミスコンテストの活動中に頑張ったことはどんなことですか

SNSでの発信です。Instagram、Twitter、ライブ配信など、どんな内容がいいかを常に考えていました。毎日試行錯誤しましたが、皆さんとたくさん

コミュニケーションをとることができて楽しかったです！

ミス駒澤に選ばれてから自分の中で何か変化はありましたか

ミスコンテストを通して、挑戦することの大切さを学びました。これからも得意不得意を決めつけず、何事も前向きに取り組みたいです。

1年間学園通信の表紙にご登場いただいたことで周りの反応などあれば聞かせてください

友達や知り合いの方が連絡をくれたり、学園通信の写真を送ってくれたりしたことが嬉しかったです！

ご自身の性格を一言で表すとしたら

マイペースな負けず嫌い(笑)。

その理由を教えてください

何事もやるからには1番になりたいと思っているのですが、本当に不器用なので、近道するのではなくコツコツと取り組むことを心がけているからです。

最近ハマっていることはありますか

カフェラテを飲むこと！

最近嬉しかったことはどんなことですか

直近だと、卒業論文を無事に書き終えたことです。

将来目指していることを教えてください

人を笑顔にし、励ますことができる人間になりたいです！

# Cover interview

素紙の二人に聞いてみた！

2021年の347号から

学園通信の表紙を飾っていただいている、ミス・ミスター駒澤コンテスト2020グランプリの福井姫奈さん、西方大空さん。

二人の活動やキャンパスライフ・プライベートについてインタビューしちゃいました！



**NISHIKATA HIROTAKA**  
仏教学部仏教学科4年  
ミスター駒澤2020  
西方 大空さん

ミスターコンテストに出ようと思ったきっかけを教えてください

2019年のミスターコンテストファイナリストである友人に勧められたのが最初のきっかけです。その後出場するかどうかを考えた時に、人生の大きな思い出になるということ、大学生活でなにか成し遂げたいと思ったこと、そしてなによりも自分を成長させる良い機会だと思ったので、出場を決めました。

ミスターコンテストの活動中に頑張ったことはどんな事ですか

応援して下さる方と密接にコミュニケーションを取ることができるため、ライブ配信サービスでの配信が一番力を入れていました。

ミスター駒澤に選ばれてから自分の中で何か変化はありましたか

自分を応援して下さる方がたくさんいるということに気付くことができたのと同時に、他人のために努力することの大切さを深く学ぶことができました。

1年間学園通信の表紙にご登場いただいて、周りの反応などあれば聞かせてください

一緒に授業を受けた友人が、「さっきひろたかみたよ!」と言ってくれたり、SNSで「載ってました!」と伝えてくれたりと、意外と見られてるんだな(笑)と思いました。

最近ハマっていることはありますか

寒い季節になってきたので、一人で鍋を食べながらビールを飲んで、好きな映画やアニメ、ドラマを鑑賞することにハマっています。

最近嬉しかったことはどんなことですか

誕生日にたくさんの人から祝福を受けたことです。

もし1年前の自分と会えたらどんなメッセージを送りますか

卒業論文は余裕をもってやりなさいと伝えたい。

将来目指していることを教えてください

幸せな家庭を築きたい!



仏教学部 教授  
金沢 篤

「世の中にまじらぬとはあらねどもひとり遊びぞ我は勝れり」の良寛さまではありませんが、旅が苦手でおブローモフのような引き籠もりを覚悟していた私でした。それが何とかやってこれたのは、誤られたように何処かで私を待っていて予期せぬ時に声をかけてくれた友人達がいたからと感謝しています。見知らぬ人からの一本の電話、それが私を駒沢の方へ呼び寄せたのです。その爽やか無比の声の持主を今も忘れていませんが、その方はもう何処にもいません。



文学部教授  
橋詰 直道

振り返ると、1993年に着任してからあっという間の楽しく充実した29年でした。私にとって最も有意義で印象深いのは、1999～2000年の1年間ロンドン大学・UCLの地理学科に在外研究員として、滞在できたことです。この時、計画していた研究を進めると同時に、新しい研究課題を見つけることができ、その後の私の研究の方向性が決まりました。29年間に素晴らしい研究仲間や多くの学生に出会えたことは、私の大切な宝物です。感謝。



経営学部教授  
高井 徹雄

30代半ばで経営学部に着任しました。エンジニアとしてブリヂストンに3年余、母校の博士課程で4年学んだ後、熊本商大に3年勤めました。そんな私が、着任後34年、駒澤一筋に半生を過ごしてきました。人懐っこい学生たちに囲まれて楽しかったゼミ活動、また、テニスを通じて交流いただいた教職員の皆様の支えもあって、学部長・研究科委員長なども一通り務めることができました。駒大には感謝しかありません。



経営学部教授  
西村 和夫

就任直前の3月に同じ科目で新任の高井先生と会い、表計算の授業をすることに意見が一致。ソフトを安く買うために、2週間でトレーニングセンターの資格を取りました。初のコンピュータ授業だったので、70台のPCで200人以上という授業を週に4コマ。それから34年。最後の2年間はコロナ禍で、毎日がオンライン授業の準備に追われました。昨年度は寝る時間もなく授業の準備。今年度はなんとか眠れましたが、就任時よりよく働きました。



法学部教授  
北野 かほる

奉職して28年になる。わたしの年代も変わり学生の世代も違うから、思い出は一律ではない。大学の「さま」は特にここ数年大きく変わった。赴任当初の印象は「傘が手放せない大学」だった。授業後に研究室に戻ろうにも大雨だったことが結構ある。建物伝いの帰路を瞬間で企画できるまで3、4年かかった。種月館内の移動で済む恩恵は、今の学生にはわからないだろう。在学中工事壁伝いに歩いた記憶しかありませんと言った卒業生に、多謝。



経営学部教授  
高木 克己

富浦セミナーハウスが建設される前は、伊豆や日光などその都度ゼミ合宿を何処にするか決めていましたが、必ずと言っていいほど、学生たちが夜大騒ぎをするので、翌朝はその宿のご主人から怒られて謝っていました。今ではよい思い出になっています。そんな彼らも人の親になっています。また、学部の先生方からの知的好奇心を刺激するいろいろなお話は、自らを成長させる原動力でした。中味の濃い充実した36年間を過ごすことができました。



総合教育研究部教授  
北村 三子

懐かしい思い出の一つは、教職科目の「教育哲学」に関するものです。身体や心がテーマでしたが、今は亡き古田潤子先生も加わって下さいました。私は前から先生の自然体操を学んでおり、剣道場で行われていた先生の「社会体育」にも時間の許す限り出席していました。授業が連続して組まれていたため両方に参加する学生さんもいて、身体的な気付きを活かして哲学する楽しさを彼らとも分かち合うことができました。36年に亘る在職中、この他にも多くの方々との出会いがあり、いろいろ学ばせていただきました。ありがとうございました。





# KOMAZAWA LUNCH

駒大生の空腹を満たす学食から、  
毎号イチオシのヒトサラをご紹介します！



今回の  
メニューは

[銀座スエヒロカフェテリアサービス]

そば

¥200(税込)

かきあげ

¥60(税込)

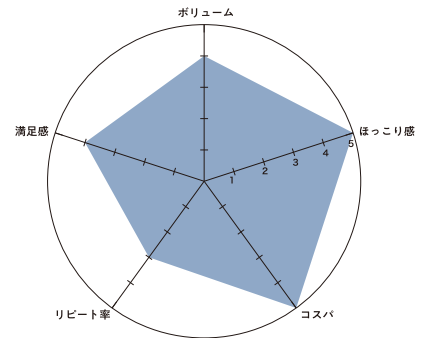
そば+かきあげ=最強!!

グローバルメディア・  
スタディーズ学部  
グローバルメディア学科2年  
加成とわさん



一口食べた瞬間、ホッと安心できる優しい味に、大きなかきあげをトッピングすればボリューム也大満足な一品! 寒い日に特におすすめしたいメニューの一つです。贅沢にトッピングをしても学生にうれしいお値段で、これを食べないなんてもったいない!

※学生食堂の営業時間はホームページをご確認ください。



次号予告 Know 351 駒澤大学学園通信 [ノウ] March, 2022

・卒業生に贈る言葉 ※掲載内容は変更になる場合があります。  
表紙：福井 姫奈さん(文学部英米文学科4年)、西方 大空さん(仏教学部仏教学科4年)



バックナンバーはこちら

読者アンケートにご協力ください

『駒澤大学学園通信 Know』をご覧いただきありがとうございます。今後の誌面づくりの参考のため、右記 QR コードより皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。



アンケートはこちら